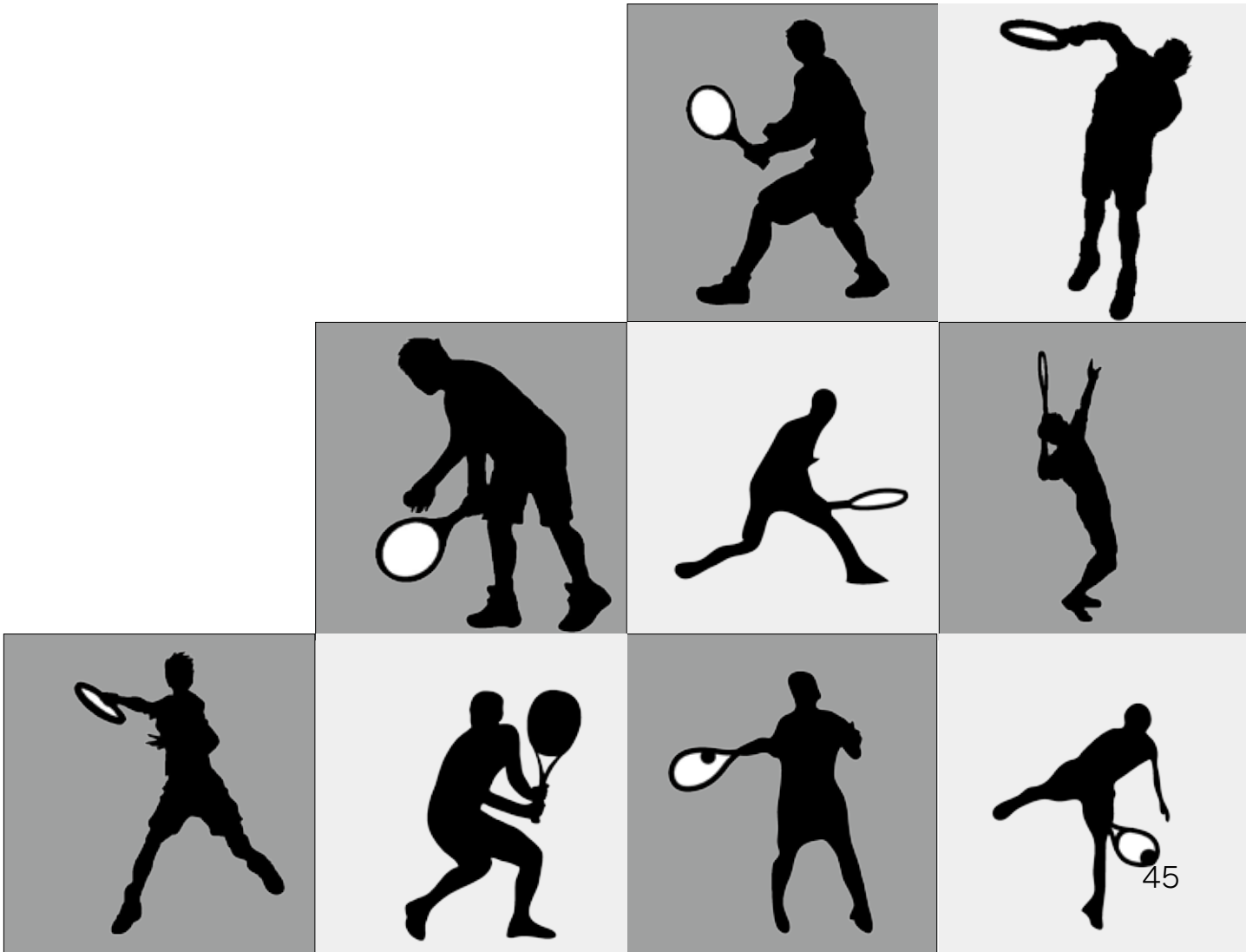
第４章
スポーツ推進のための具体的施策



１　生涯にわたるスポーツ活動の推進

（１）　子供のスポーツ活動の推進

幼児・児童・生徒のだれもが、運動に親しみながら体力の向上や健康の保持増進に取り組めるよう、スポーツ活動の推進を図ります。

①　幼児の運動の普及

・親子スポーツ教室の実施等により、運動に取り組む機会の増加に努めます。
・親子で楽しめるスポーツやレクリエーションの情報を提供します。

②　スポーツ教室の開催

・公益財団法人熊谷市体育協会加盟団体が中心となって実施する、様々なスポーツ種目の初心者・初級者を対象としたスポーツ教室の開催を推進・支援します。

③　スポーツ少年団、子ども会等のスポーツ活動の推進と
　　クラブチームの活動支援

・スポーツ少年団活動の充実のために必要な指導者育成事業を推進します。
・熊谷市子ども会育成連絡協議会や放課後子供教室推進事業のスポーツ活動を、地域の方々の参画を得て推進します。
・クラブチームの活動充実に向けた支援を行います。

④　次世代のアスリートの育成支援

・各種スポーツの全国大会などに出場する次世代のアスリートを支援します。
・地域のスポーツ関係団体、武蔵ヒートベアーズやアルカス熊谷のようなトップレベルのチーム・選手と連携した育成活動を通じ、競技力の向上を図ります。

（２）　成人のスポーツ活動の推進

だれもが自分にふさわしいスタイルでスポーツ活動に熱中できるよう生涯スポーツ・レクリエーション活動の推進を図ります。

①　市民がスポーツを「実践」する楽しさを味わえる機会の充実

・市民がスポーツに親しむきっかけづくりとして、公益財団法人熊谷市体育協会や熊谷市レクリエーション協会などが行うスポーツ教室や講習会が一層充実するよう支援します。
・熊谷市スポーツ推進委員協議会と連携しながら、出前講座を実施するなどして、手軽に楽しめる運動やニュースポーツの普及を図ります。
・熊谷さくらマラソン大会や熊谷めぬま駅伝大会をはじめとしたスポーツイベントを、市民が参加して楽しめるよう一層充実させます。
・仲間とともに楽しむスポーツを志向する市民に向けた女性バレーボール親善大会や卓球親善大会などを、スポーツ推進委員協議会やスポーツ関係団体と協力して開催します。
・熊谷市スポーツ・レクリエーション指導者バンクや熊谷市スポーツボランティアバンクを活用し、地域が開催するスポーツイベントに指導者や支援者を派遣するなどの支援体制を築きます。
・通勤や買物を車から自転車や徒歩に変更するなどの身体活動を、日常の生活に取り入れることを推奨します。

②　競技スポーツの推進

・競技志向に対応し、熊谷市総合体育大会をはじめとした各種スポーツの大会を公益財団法人熊谷市体育協会などと協力して開催します。
・各種スポーツの全国大会などに出場する市民を支援するとともに、オリンピックやパラリンピックなどで優秀な成績をあげた市民や本市ゆかりの選手の顕彰制度を充実します。
・地元の選手や団体の活動状況や活躍などを、市報や市のホームページなどで広報します。
・地域のスポーツ関係団体、武蔵ヒートベアーズやアルカス熊谷のようなトップレベルのチーム・選手と連携し、競技力の向上を図ります。

（３）　高齢者のスポーツ活動の推進

いつまでも生き生きと心身ともに健康で充実した日々を過ごすことができ、介護予防にもつながるよう地域におけるスポーツ環境の整備を図るとともに、高齢者がスポーツ教室やスポーツ大会へ参加できる機会を広げ、高齢者の積極的な社会参加を促進します。

①　公民館と連携したスポーツ活動の推進

・公民館と連携し、高齢者のニーズに応じた各種教室やイベントの開催を推進し、スポーツ活動の機会の拡充を図ります。
・生涯にわたって活動できるようなグループづくりを支援します。

②　気軽に健康・体力づくりを行える環境づくり

・市政宅配講座「高齢者体力測定会」を広く行い、市民が日常の健康・体力づくりに生かせる情報を提供します。
・ウォーキングやラジオ体操など、年齢を問わず実践できる健康づくりのための運動を奨励します。
・高齢者が自ら主体となって体力づくりを行う、介護予防体操を奨励します。


介護予防体操


世代間グラウンドゴルフ大会

（４）　障害者のスポーツ活動の推進

障害者が気軽に身近な施設でスポーツに親しむ機会を広げるため、スポーツ施設のバリアフリー化を進めるとともに、定期的な活動ができるスポーツ教室やスポーツ大会などの充実を図ります。

①　スポーツ施設のバリアフリー化の推進

・障害者が使いやすいようスポーツ施設のバリアフリー化を進めます。

②　スポーツ教室やイベント等の支援

・障害者がスポーツ教室やイベントなどに参加し、楽しむことができるように支援します。また、スポーツボランティアが活動できるような情報を発信します。

・彩の国ふれあいピックなどへの参加を広く呼びかけます。



市民体育館　スロープ



ふれあい運動会

（５）　総合型地域スポーツクラブの育成・支援

市民のだれもが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツ活動に親しめる環境づくりをすすめるために、「総合型地域スポーツクラブ」の育成・支援事業を実施します。

①　総合型地域スポーツクラブの育成・支援

・子供から高齢者まで全ての年代の市民が自主的に生涯を通してスポーツを行える総合型地域スポーツクラブを育成します。
・スポーツはもとより、地域住民の交流と活性化を図るため、地域のだれもが関わり参加のできるクラブの育成を図ります。
・既存のクラブの一層の発展に向けて、指導者の育成、情報発信や広報などによる支援を行います。

（６）　地域のスポーツ活動への支援

トップレベルのチーム、選手を支援し、地域連帯感の高揚や地域コミュニティ活動の活性化に寄与するよう地域スポーツ活動への支援をします。

①　地元トップチームの支援、連携による地域スポーツの活性化

・市内を拠点とする武蔵ヒートベアーズやアルカス熊谷のほか、本市との関係も深く市民に親しまれているトップレベルのチーム、選手と連携し、市民参加の講習会、イベントを開催しスポーツの振興を図るとともに、地域のスポーツ団体としての認知度の向上と応援・支援の気運を高めます。

②　地域の体育施設を基点としたスポーツ活動の推進

・学校の体育施設など地域の体育施設を基点として、既存のスポーツチームに地域の住民が参加・支援するなど、共にスポーツ活動に親しめる新しい環境づくりを検討します。

③　指定管理者（事業者等）との連携によるスポーツ活動の推進

・公共スポーツ施設の指定管理者と連携して子供から高齢者まで多様なライフステージに応じたスポーツや健康づくりプログラムの取組を充実させます。



武蔵ヒートベアーズによる野球教室

２　学校体育の充実

（１）　学校体育の充実

児童･生徒が生涯にわたって運動やスポーツに親しむことのできる資質を育むために、学校体育の授業や運動部活動等の充実・改善を図ります。

①　学校体育の充実

・運動の特性や魅力を味わわせる授業の実践のため、指導者研修の充実により教員の指導力向上を図ります。
・地域の優れた人材を体育授業や体育行事等に生かします。
・体育科や保健体育科の授業、体育的活動時に運動量を確保するとともに、いろいろな動きを経験させ体力・運動能力の向上に努めます。
・小学校の体育科やクラブ活動の授業、中学校の保健体育科の授業で、いろいろなスポーツを経験し楽しさが味わえるようにします。
・全小中学校に、体育指導専門員が訪問し、本市児童・生徒の体力向上や教員の指導力改善を図ります。

②　熊谷教育推進プロジェクト体力向上推進委員会の充実

・本市児童・生徒の体力の実態把握を基にして、課題を明確にし、体力向上を図ります。
・広報紙を発行し、各学校の優れた取組を全小中学校に周知します。

③　中学校運動部活動等の充実

・部活動地域連携事業により、専門的な技術指導のできる地域の方を外部指導者として派遣します。
・市内中学校の同じ種目の運動部が合同で、高等学校や大学の運動部と練習会や指導者の交流などを行い、競技力の向上を図ります。
・地域住民が部活動に参加し、住民が生徒を指導し練習相手になることで、住民自身もスポーツが楽しめるような地域と連携した部活動を推進します。
・運動部活動支援員活用事業により、支援員を中学校に配置し、運動部活動の充実及び活性化を図ります。

３　気軽にスポーツに親しむことができる環境の整備

（１）　スポーツ施設の整備と有効利用

スポーツに親しめる場として、施設の整備を検討するとともに、既存のスポーツ施設の有効利用を推進します。また、身近な学校体育施設開放の充実を図ります。

①　スポーツ施設の有効利用の促進

・スポーツに対する多様化するニーズに応えるため、多様なスポーツに対応できるような公共施設の整備を検討するとともに、既存施設の有効活用を図ります。
・ニーズの高いスポーツの用具を、市民の要請に応じて貸し出せるような体制整備を検討します。
・市民のライフスタイルの変化に対応し、個人利用の促進や施設の利用時間などの見直しを行い、利便性の向上を目指します。
・スポーツ関連団体が行う、個人が気軽に楽しめるスポーツ種目の講習を推進します。
・スポーツ施設などの改修にあたっては、スポーツ施設と文化、福祉、商業など他の分野の施設の複合化や相互利用を検討します。

②　ウォーキング・ジョギング・サイクリングコースの設定・整備

・市民が身近に実践できるウォーキングコースやジョギングコースを設定し紹介するとともに、サイクリングコースの整備を検討します。
・既存の道路への自転車レーン整備や公園を周回するジョギングコースの整備などはスポーツ利用も考慮に入れ、整備や改修を検討します。

③　市立小中学校の体育施設（校庭・体育館）の開放

・地域住民によるスポーツ活動の場として開放するとともに、誰もが使いやすい施設の環境づくりに努めます。

（２）　指導者の育成・活用

トップアスリートやその指導者、体育系大学の卒業者など、地域のスポーツ指導者として資質や意欲のある人材を発掘・育成するとともに、これらの人材を地域のスポーツ指導者などとして活用していく体制づくりを進めます。

①　スポーツ指導者の発掘・育成

・ホームページや広報紙により公募を行うとともに、スポーツ関係団体やトップレベルのチームなどと協力して、スポーツ指導者の発掘に努めます。
・熊谷市スポーツ・レクリエーション指導者バンクへの指導者登録を促進し、指導者の育成・派遣の体制を充実させます。
・スポーツ指導者の研修会などへの参加を促進し、トップレベルのスポーツ選手などを指導者として派遣し、支援を行います。

②　スポーツ指導者の活用

・熊谷市スポーツ・レクリエーション指導者バンクの登録指導者を地域のスポーツ活動の指導者として派遣します。

（３）　スポーツ情報の収集と発信

市民がいつでもスポーツに親しむことができるように、スポーツイベントやスポーツ施設などの情報収集とその発信を行い、市民がスポーツに親しむ機会を増やすとともに、郷土愛の醸成に努めます。

①　スポーツ情報の収集と発信

・大会・イベント情報の収集を行い、広報紙やホームページなどを活用して、市民にわかりやすく発信し、多くの市民が来場して応援し、スポーツの感動を共有できるようにします。
・ウォーキングなど年齢を問わず実践できる運動を奨励し、健康づくりやスポーツを始めたい人に役立つ情報発信に努めます。
・ラグビーワールドカップ２０１９をはじめとしたラグビーに関する情報をＳＮＳなどの情報発信ツールも活用しながら積極的に発信し、ラグビーに対する市民の関心を高めます。

②　ホームチームや本市ゆかりの選手情報の発信

・本市を拠点とするトップスポーツチームやゆかりのスポーツ選手等に関する情報を発信し、試合会場での応援の機会を増やします。
・市民が地元のスポーツチームや選手の活躍を共有、応援できる場所を作ります。
・本市を本拠地とするスポーツチームや、ラグビーなど本市にゆかりの深いスポーツを中核に、ホームタウン意識の醸成を図ります。
・オリンピックやパラリンピックなど国際大会における本市ゆかりのチームや選手のパブリック・ビューイングを実施します。



リオデジャネイロ パラリンピック　パブリック・ビューイング

４　スポーツとの連携・協働による活力あるまちづくりの推進

（１）　スポーツイベントによるまちの活性化

スポーツイベントを生かし、広い視野に立ってまちの活性化を図ります。

魅力あるスポーツ大会やプロスポーツ等の招致・開催に努め、市民に夢や感動を与える機会の拡充に努めます。

また、市民の多様な生涯スポーツ活動が楽しく円滑に行われるように、スポーツボランティアの育成・組織化を促進します。

①　プロスポーツや関連団体等との連携による大会招致

・関係機関や競技団体と連携した積極的な大会招致活動を行います。
・スポーツ大会の主催者ニーズを把握し、大会運営に必要な各種情報を一元的に提供できる体制の構築を目指します。
・全国レベルの新たなスポーツ大会の開催を促すため、観光事業者と連携し、主催者の開催支援につながる方策を検討します。
・スポーツと連携したシティープロモーション活動を展開します。

②　ラグビーワールドカップ２０１９開催によるスポーツ推進

・ラグビータウン熊谷を世界に発信するとともに、スポーツを実践・観戦しやすい環境整備、子供たちの郷土愛醸成など、次世代に誇れる有形・無形の遺産（レガシー）の創出を図ります
・大会後も、日本代表戦やトップリーグなどが開催され、ラグビーの聖地という誇りと郷土愛が末永く継承されるように取り組みます。

③　スポーツ関連団体との連携によるスポーツボランティアの育成・活用

・各競技団体や公益財団法人熊谷市体育協会などと連携し、広く市民に呼びかけ、スポーツボランティアの募集や登録を進めるとともに積極的な参画を図ります。
・平成２８年度（２０１６年度）に発足したスポーツボランティア制度を拡充し、様々な大会への協力体制を図ります。
・スポーツに関する様々な分野で、大会主催者などと連携し、ボランティアが活躍できる場を創出します。

（２）　スポーツ文化の創出

スポーツ選手の活躍は、市民に感動の共有、夢と希望を与え、スポーツへの関心を高めます。また、スポーツの場では、選手同士はもとより、人と人、地域と地域、国と国、様々なレベルでの交流が生まれ、人々の相互理解にも重要な役割を果たします。

本市では、ラグビーワールドカップ２０１９を始め、大規模スポーツイベントが頻繁に開催される環境にあり、こうしたスポーツの価値や役割を認識し、本市ならではのスポーツ文化を目指します。

①　スポーツを通じた交流の促進

・スポーツ会場やパブリック・ビューイングにおける応援と協力を積極的に行い、選手と市民や市民同士の交流を行います。
・ラグビーワールドカップ２０１９を契機にした、国際的な交流の機運を醸成します。

②　熊谷らしいスポーツ文化とラグビーワールドカップ２０１９レガシーの融合

・ラグビーワールドカップ２０１９の開催都市として、イベントの充実を図ります。
・ラグビーワールドカップ２０１９のレガシーと既存のスポーツ事業を融合し、熊谷ならではのスポーツイベントを検討します。
・「ラグビータウン熊谷」の伝統を継承・発展させ、本市独自のスポーツ文化の創出を目指します。
・参加国の言語、食や伝統など文化に関する講座などを開催し、ラグビーワールドカップ２０１９の機運を盛りあげるとともに、ラグビー文化のさらなる発展に取り組みます。

（３）　スポーツと地域社会・経済活動の連携

本市で開催される各種スポーツ大会に伴う交流人口の拡大は、観光や商業と同様、地域経済の発展にも広く寄与すると考えられます。

スポーツ大会、イベントの開催に伴う直接的な効果に加え、スポーツ関係者が市内に滞在、回遊することでより大きな経済効果が見込まれます。スポーツ、観光と商業の各分野が連携し、スポーツ団体や観戦者のニーズを踏まえた熊谷の魅力を提案します。

①　地元企業、経済界とスポーツの連携による経済効果の創出

・本市を拠点とするスポーツチームや民間事業者と連携し、本市ならではのスポーツビジネスの創出に向けて取り組みます。
・スポーツコミッション（スポーツ大会やスポーツイベントの主催者、来訪者、それぞれのニーズに対して柔軟に対応できるワンストップ窓口サービス）の設立に向けた取り組みを行います。あわせて、地域のネットワークを活用しながら、交流人口の拡大を目指します。

②　スポーツツーリズムの推進

・本市のスポーツ環境を生かして誘客の期待できるスポーツ大会やイベントの誘致に取り組むとともに、観光事業と密接に連携し、官民一体となって満足度の高いスポーツツーリズムを提供します。
・大会主催者等と連携し、大会関係者や観客に本市のご当地グルメや物産などのＰＲを行います。

③　スポーツ関連事業者との連携による体験型スポーツの研究

・本市への来訪者に対し、簡単に取り組めるスポーツ体験の場の整備を検討します。